

# 野村IR資産運用フェア2025

2025年1月9日(木)~28日(火)



東証プライム・名証プレミア 上場  
(証券コード5333)



© NGK・kero/dwarf

# 会社概要

■社名	日本ガイシ株式会社 東証プライム・名証プレミア上場 (証券コード5333)
■設立	1919年(大正8年)5月5日
■本社	愛知県名古屋市
■資本金	701億円
■連結売上高 連結営業利益	5,789億円 664億円 (2024年3月期)
■連結子会社	47社(国内17社 海外30社)
■従業員数	連結 19,540人(単独 4,775人) 2024年3月末現在

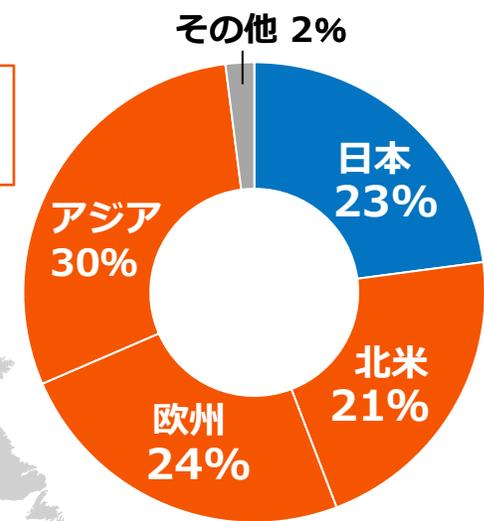


代表取締役社長  
小林 茂

# 日本ガイシグループの海外展開

● 海外生産拠点 **18**社 (10カ国)  
● 海外販売拠点・支店

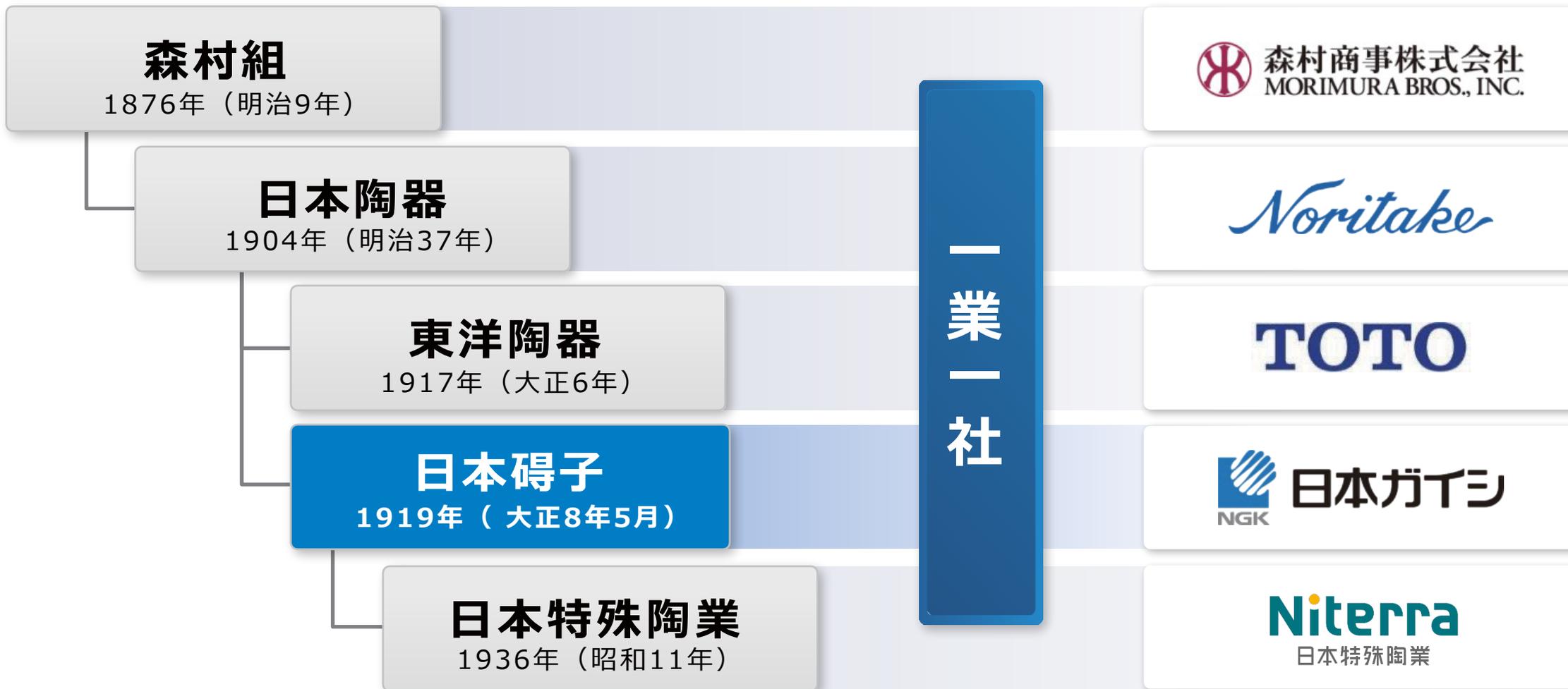
海外売上高 **8**割



2024年3月現在



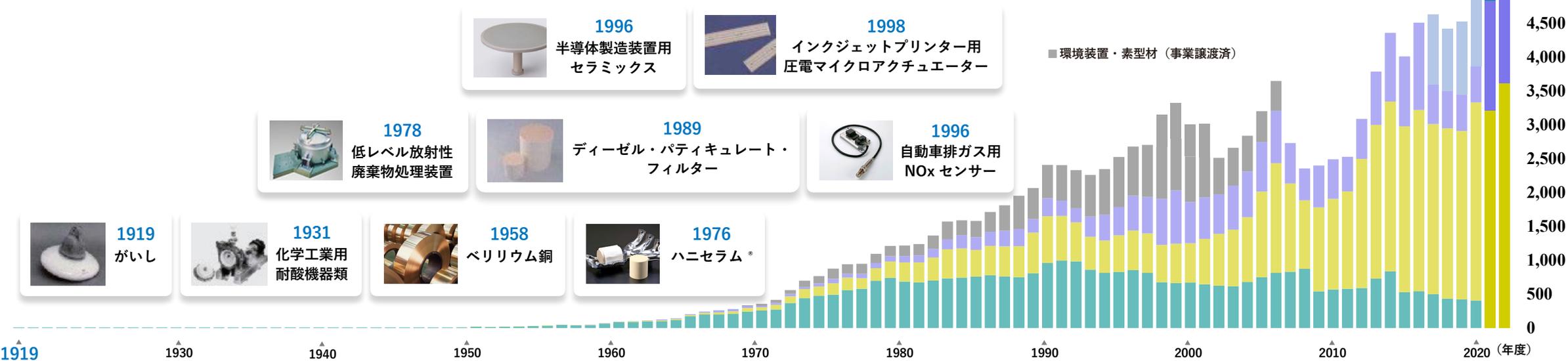
# 森村グループの沿革



NGKグループ理念

## 社会に新しい価値を そして、幸せを

高品質で信頼性の高いがいし製造を通じて培った独自の技術力を核に、産業の発展や人々の暮らしを支え、社会課題の解決に役立つ製品を次々と生み出すことで持続的な成長を果たしてきました。



1919  
がいし



1931  
化学工業用  
耐酸機器類



1958  
ベリリウム銅



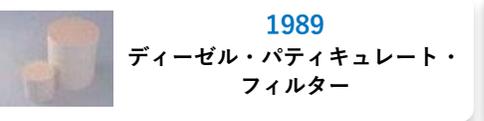
1976  
ハニセラム®



1978  
低レベル放射性  
廃棄物処理装置



1989  
ディーゼル・パティキュレート・  
フィルター



1996  
自動車排ガス用  
NOx センサー



1996  
半導体製造装置用  
セラミクス



1998  
インクジェットプリンター用  
圧電マイクロアクチュエーター



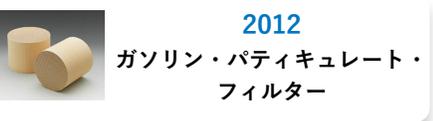
2002  
家庭用浄水  
C1®



2003  
NAS® 電池



2012  
ガソリン・パティキュレート・  
フィルター



2014  
複合ウエハー



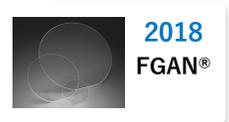
2015  
HDD 用マイクロ  
アクチュエーター



2016  
ニッケルすず銅

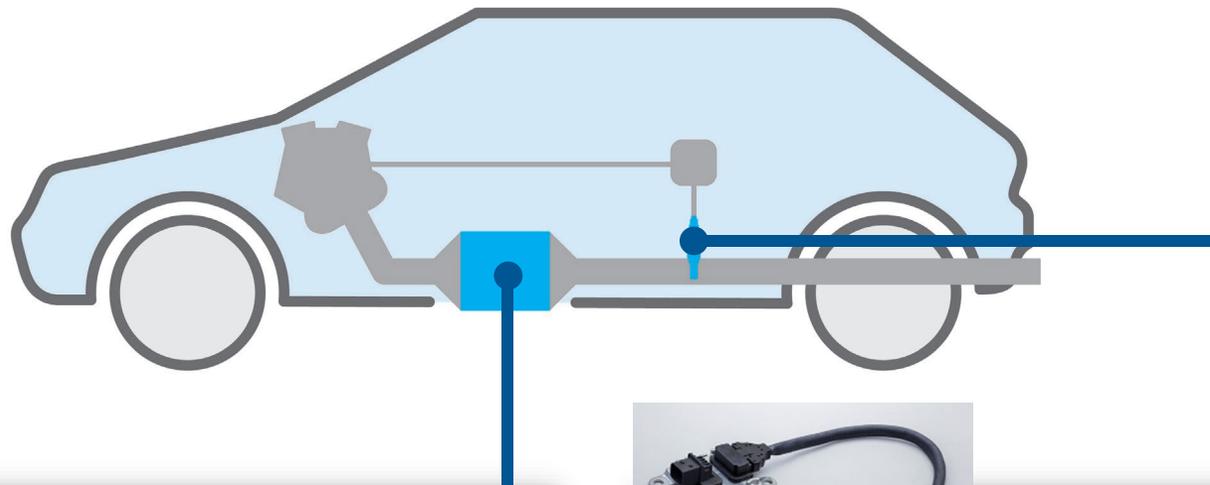


2018  
FGAN®



2019  
EnerCera®

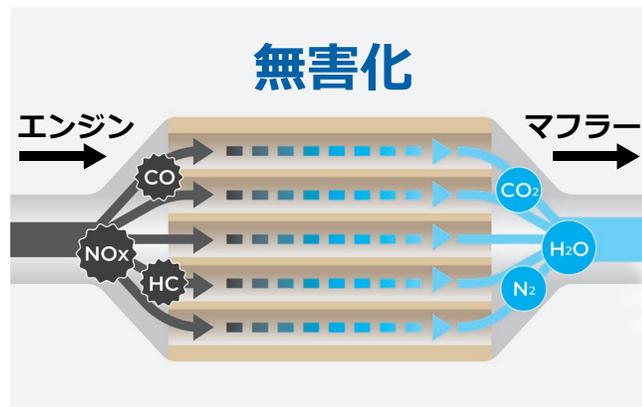




## ハニセラム

### 排ガスを浄化

排ガスが蜂の巣状のセラミックスを通過するとき内壁に塗布された触媒により無害化。



## NOxセンサー

### 排ガス中のNOx濃度の測定

エンジン排ガス中のNOx(窒素酸化物)濃度を測定。測定結果はエンジン制御コンピューターに伝達され、排ガス浄化の制御に活かされている。



クリーンな空気を守り、産業の進化を支える。

## エンバイロメント事業

自動車関連事業

センサ事業

産業プロセス事業

世界をリードする排ガス浄化技術で、厳しさを増す排ガス規制に対応。環境保全に貢献し、ものづくりに変革をもたらします。



最先端の技術で応える。

## デジタルソサエティ事業

HPC事業

電子デバイス事業

金属事業

めざましく進化するエレクトロニクスの分野で、独自の技術を追求。発展し続けるデジタル社会の課題解決に貢献します。



世界の電力供給を支える。

## エネルギー & インダストリー事業

エナジーストレージ事業

ガイシ事業

電力の安定供給を支えるとともに、エネルギーの新たな可能性を拡大。カーボンニュートラル社会の実現に向け、電力インフラの変革に対応していきます。



総売上高に占める  
環境貢献製品の割合  
(2023 年度)

# 64%

## 自動車の排ガス浄化



ハニセラム®



ディーゼル  
バティキュレートフィルター  
(DPF)



NOx センサー

## 再生可能エネルギー 普及への貢献



NAS® 電池

## 放射性廃棄物の 安全な処理



低レベル放射性  
廃棄物処理装置

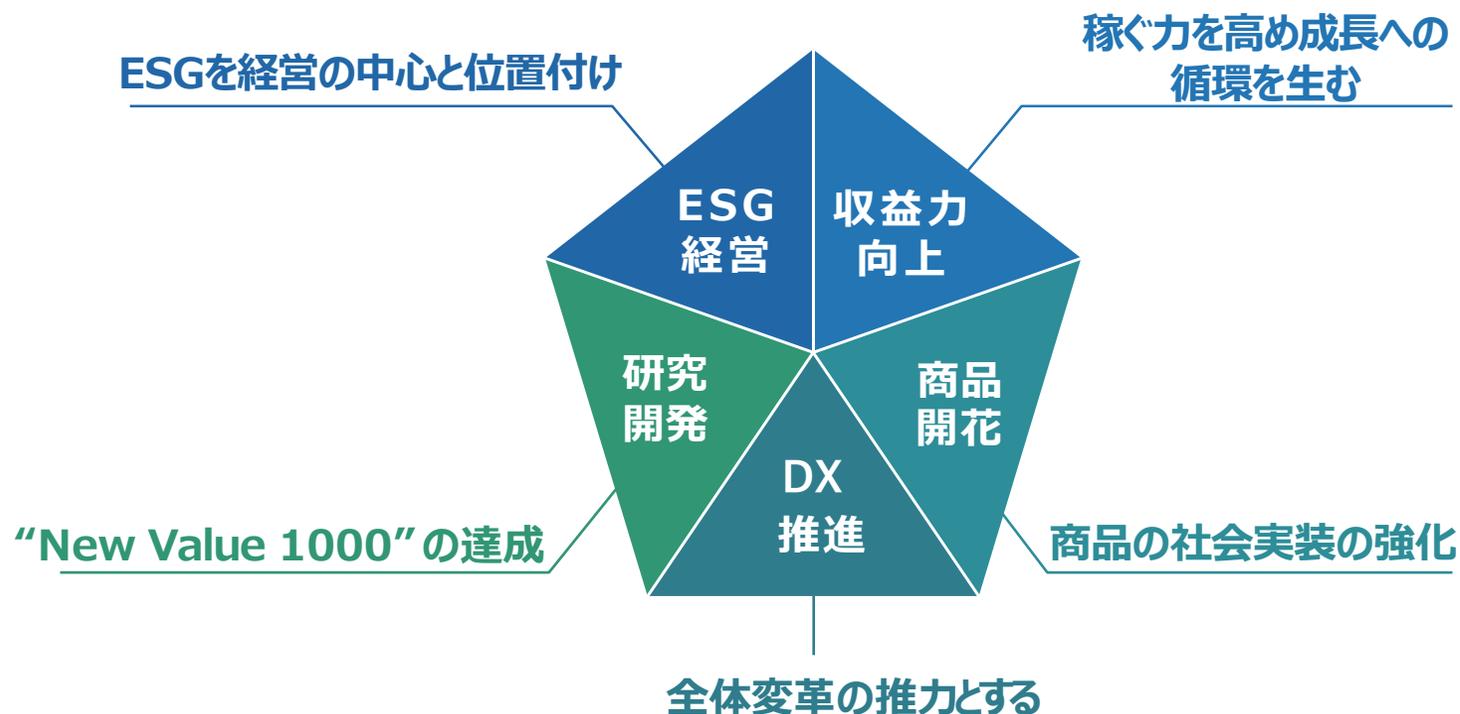
そのほか計 10 種類の製品やサービスで、環境改善に貢献しています。

ありたい姿

独自のセラミック技術で  
カーボンニュートラルと  
デジタル社会に貢献する

なすべきこと

5つの変革により  
事業構成を転換する



# カーボンニュートラルに向けた取り組み事例

DAC: Direct Air Capture  
(大気CO<sub>2</sub>吸着)

大気CO<sub>2</sub>吸着モジュール



CO<sub>2</sub>

大気CO<sub>2</sub>回収

CO<sub>2</sub>地中貯留



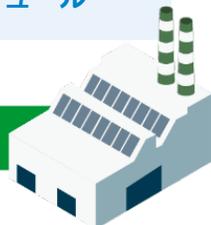
EOR (炭酸ガス圧入攻法)

CO<sub>2</sub>分離膜

排ガス向け  
CO<sub>2</sub>分離膜・吸着モジュール

CO<sub>2</sub>分離・回収

CO<sub>2</sub>



NAS®電池

再生エ

水・CO<sub>2</sub>電気分解

SOEC



森林 他



燃料・化成品



CO<sub>2</sub>

バイオマス  
CO<sub>2</sub>分離膜・  
水素分離膜・  
固液分離膜

合成モノリス型  
リアクター

化学合成プロセス向け  
脱水膜

メタネーション向け  
モジュール  
(アンモニア由来含む)

メタノール

CH<sub>4</sub>

HC\*

\*ハイドロカーボン

水素分離膜・  
窒素分離膜

耐水素脆性  
ベリリウム銅部材

水素分離膜

再生エ電力・  
バイオガス由来

H<sub>2</sub>

NH<sub>3</sub>

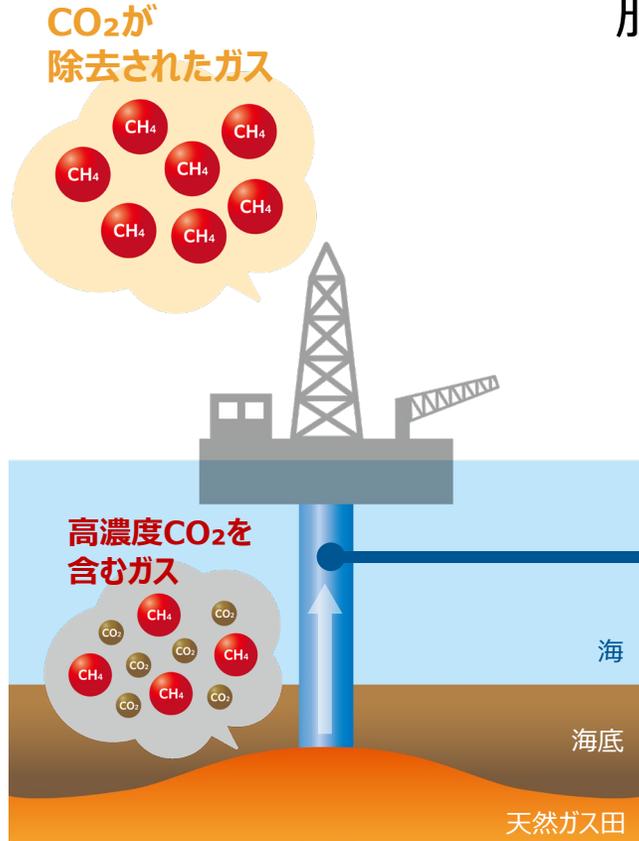
H<sub>2</sub>

CO

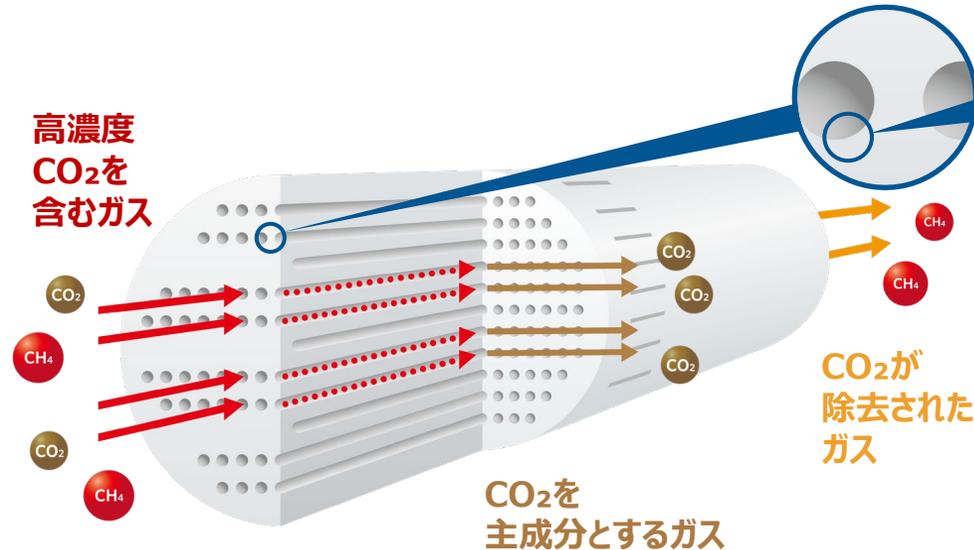
# 新製品の創出(サブナノセラミック膜)

膜を通すだけで分子レベルでの分離が可能な  
「分子のふるい」

## サブナノセラミック膜



ガス田からの天然ガス精製時にサブナノセラミック膜を活用することで高圧・高濃度のCO<sub>2</sub>が含まれる不良ガス田からでも天然ガスの精製が可能となり資源の有効活用に貢献。



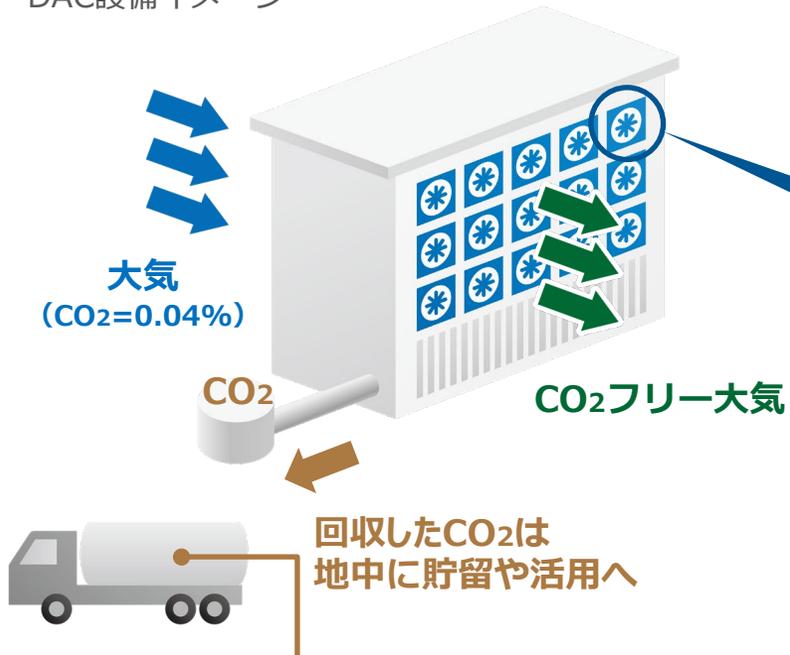
直径：180mm、長さ：1000mm



# 新製品の創出(ダイレクト・エアー・キャプチャー)

大気中のCO<sub>2</sub>を直接回収する技術。カーボンニュートラル実現へ貢献

DAC設備イメージ



CCS 二酸化炭素貯留



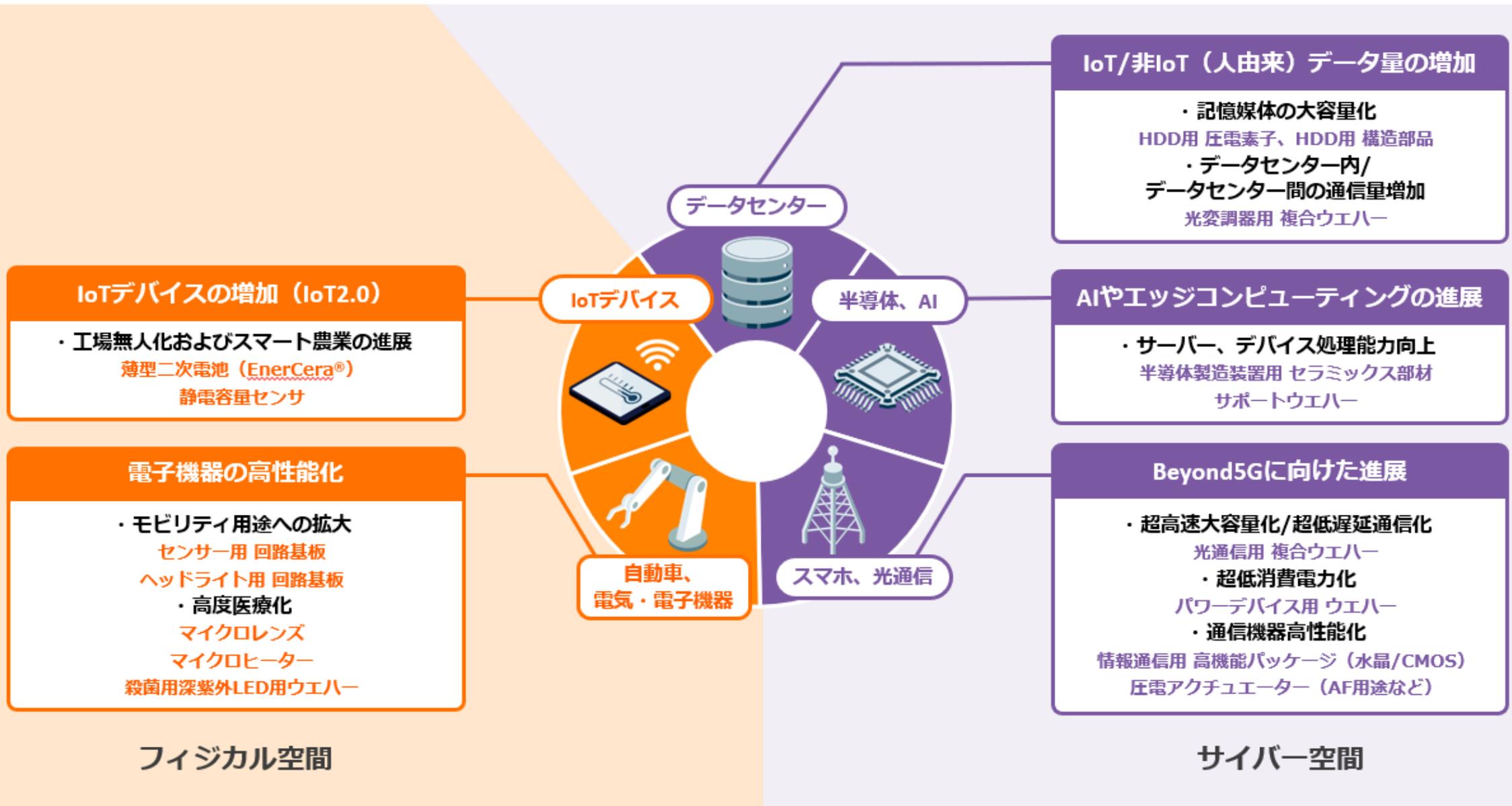
CCU 二酸化炭素活用



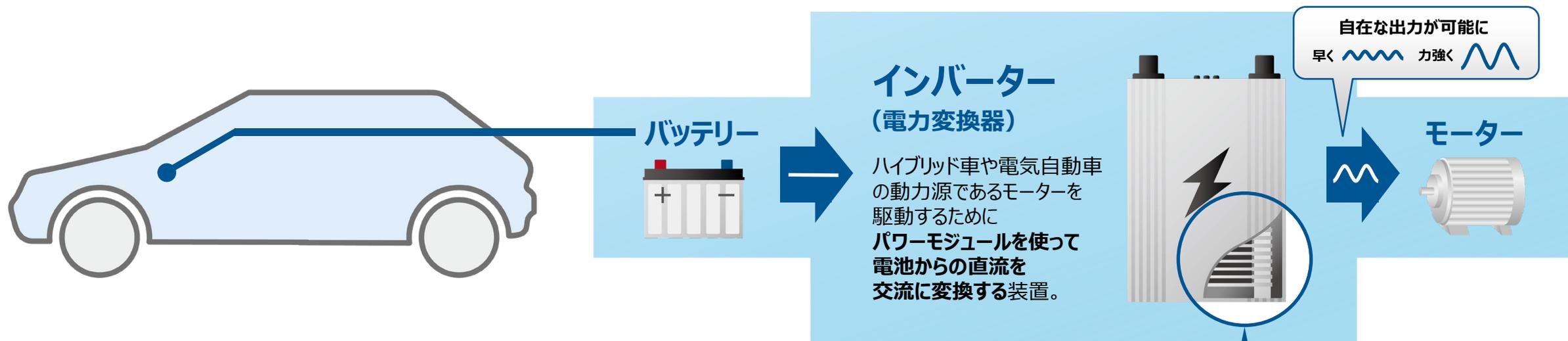
## コンタクター (角型ハニカム集合体)



# デジタル社会に向けた取り組み事例



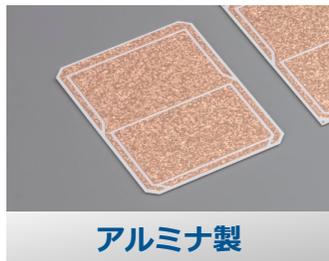
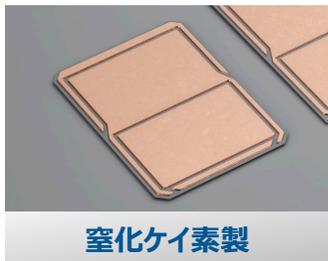
# 新製品の創出(絶縁放熱回路基板)



## 絶縁放熱回路基板

### 高効率な安定動作へ

モーター駆動時にパワー半導体で発生した熱を冷却器へ逃がす役割を担い、高効率な安定動作に貢献。





## 超薄型・小型リチウムイオン二次電池

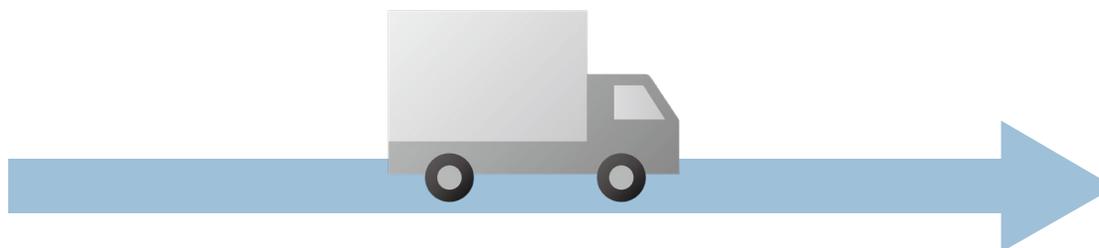
日本ガイシ独自のセラミックス電極板を使用

### 活用例

#### 荷主様



#### お取引先様



温度・湿度・衝撃の測定

### フレキシブルセンサータグ

INNOLUX



フレキシブルセンサータグに EnerCera を搭載。  
薄型デバイスのため  
設置スペースをとらない。



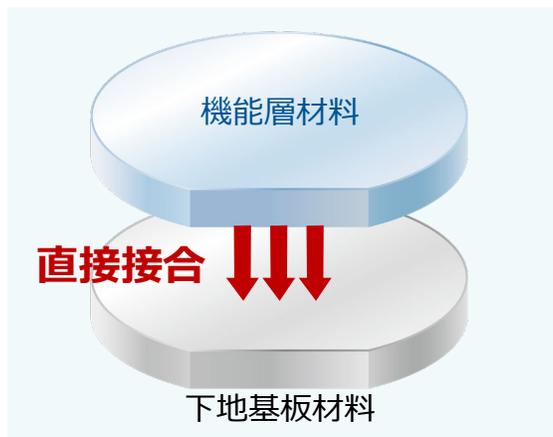
- 輸送中の温湿度や衝撃などの状況を可視化  
→品質管理や輸送ルート選定に還元
- ワイヤレス充電で繰り返しの使用が可能  
→環境負荷軽減に貢献

ウエハーは半導体の「基板」となる素材であり、スマートフォン、パソコン、自動車等、私たちの身の回りに数多く使われている。

## 複合ウエハー

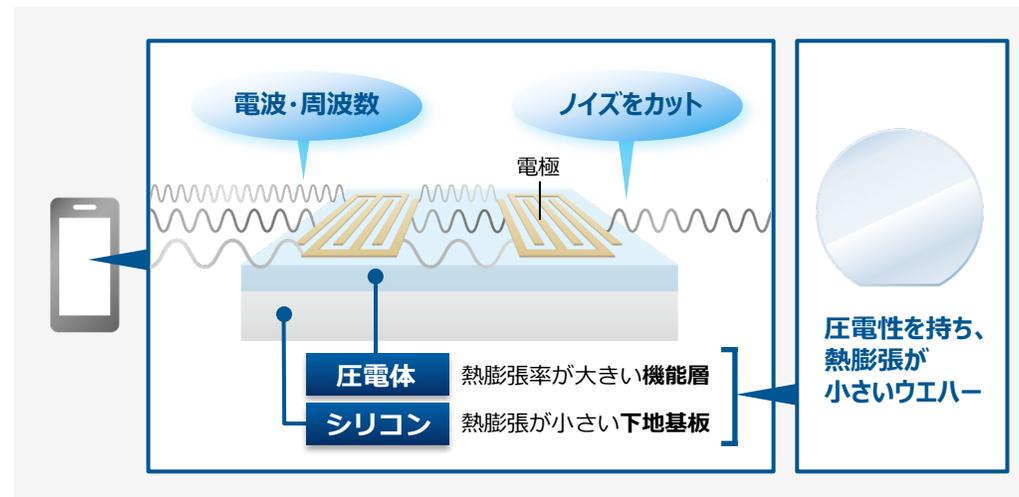


当社独自の3つの技術  
(異種接合/薄膜研磨/材料開発) を  
組み合わせることで新製品を創出



### 特徴：熱による影響を抑える

複合材料となっており、熱膨張の小さいシリコンと圧電体を接合することで、熱による影響を抑えることが可能。スマートフォンの品質向上に貢献。



# 持続的成長を支えるNGKの強み

# No.1

2023年4月現在

ナンバーワン  
オンリーワンを  
多数創出

👑 2014年世界初

SAW フィルター用  
複合ウエハー



👑 2018年世界初

紫外 LED 用マイクロレンズ



👑 コンパクト 世界 No.1

チップ型セラミックス  
二次電池「EnerCera®」



👑 シェア 世界 No.1

高周波デバイス用  
セラミックパッケージ



👑 2015年世界初

HDD 用圧電マイクロ  
アクチュエーター



👑 シェア 国内 No.1

ベリリウム銅



👑 大きさ 世界 No.1

12メートルがい管



👑 世界 No.1

送電用懸垂がいし  
(引張強度 84 トン)



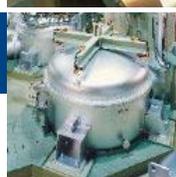
👑 2002年 事業化世界初

電力貯蔵用 NAS® 電池



👑 シェア 国内 No.1

低レベル放射性  
廃棄物処理設備



👑 強度 業界 No.1

耐火物  
NEWSIC®



👑 シェア 国内 No.1

セラミックポンプ・バルブ



👑 高温ガス集塵装置  
国内 No.1

セラレック®



👑 業界シェア 国内 No.1

医薬用水設備



👑 シェア 世界 No.1

半導体製造装置用  
酸素分析計



👑 1922年 国内メーカー初

研究開発本部  
図書室

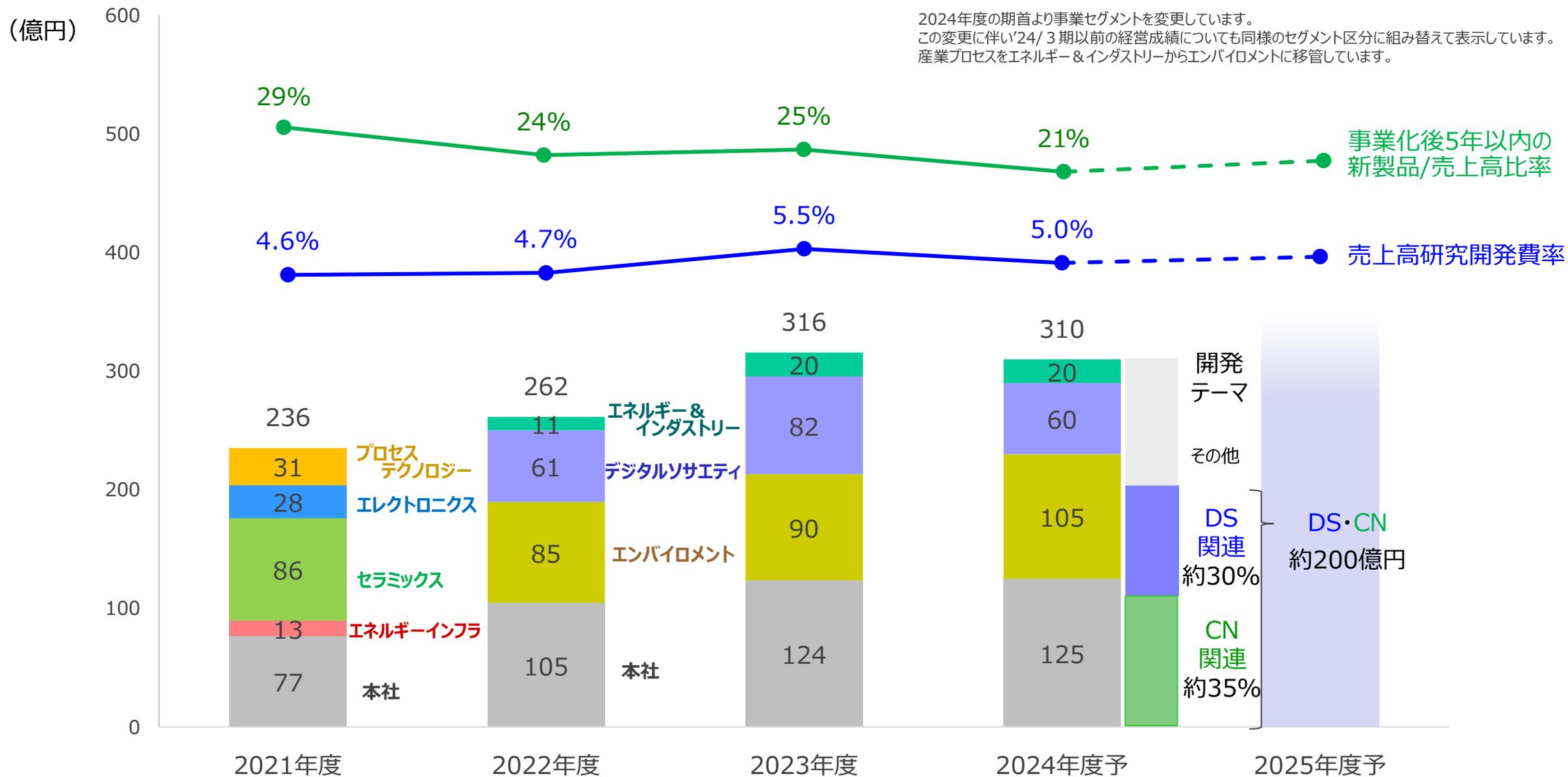


# 決算・株式情報



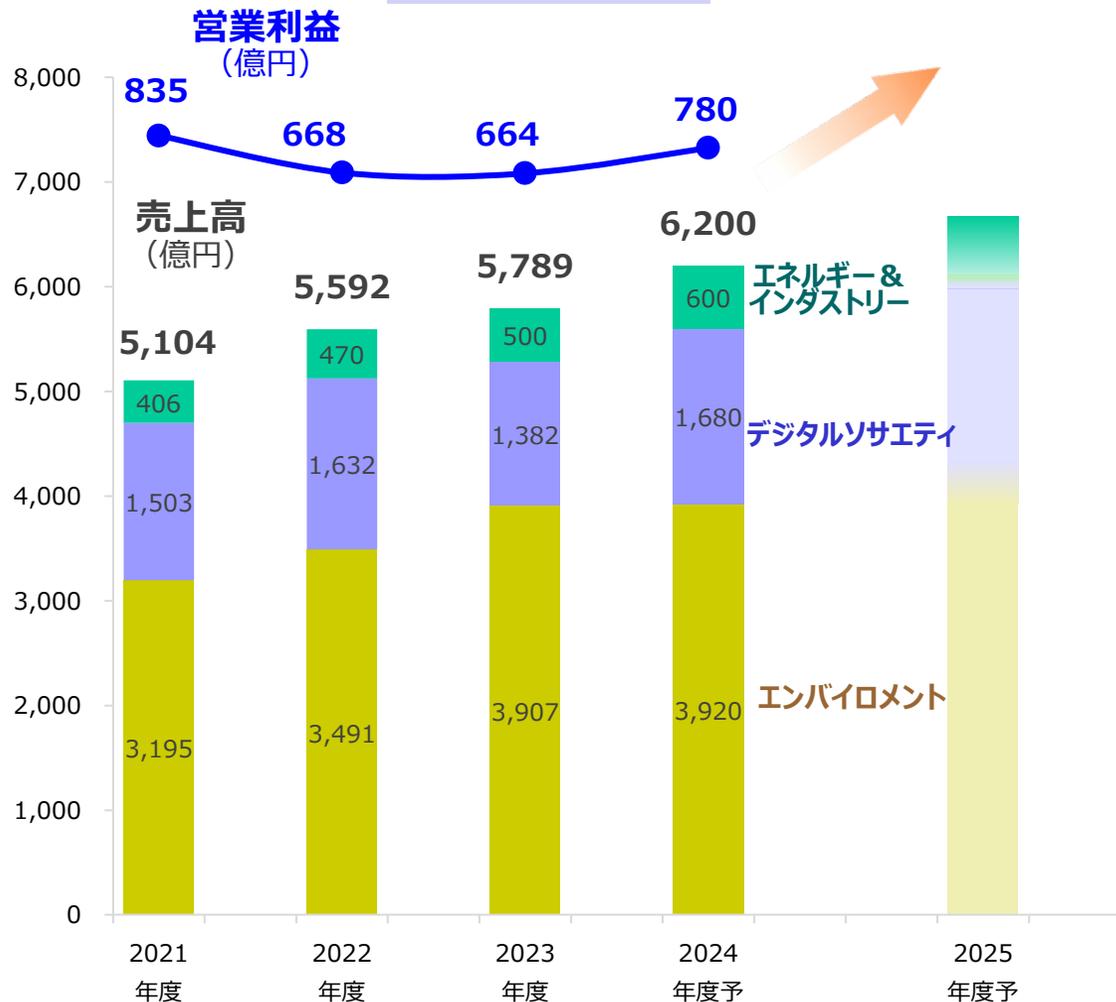
© NGK・kero/dwarf

# 研究開発費 / 新製品売上高比率



# 連結売上高・営業利益（連結）

## 連結業績推移



### ■ 連結業績（要点）

- ・2024年度の売上高は、半導体・エレクトロニクス関連の需要が増加していることから増収・増益の見込み。

- ・中長期ではデジタルソサエティ（半導体製造装置用製品）の需要が拡大する見通し。

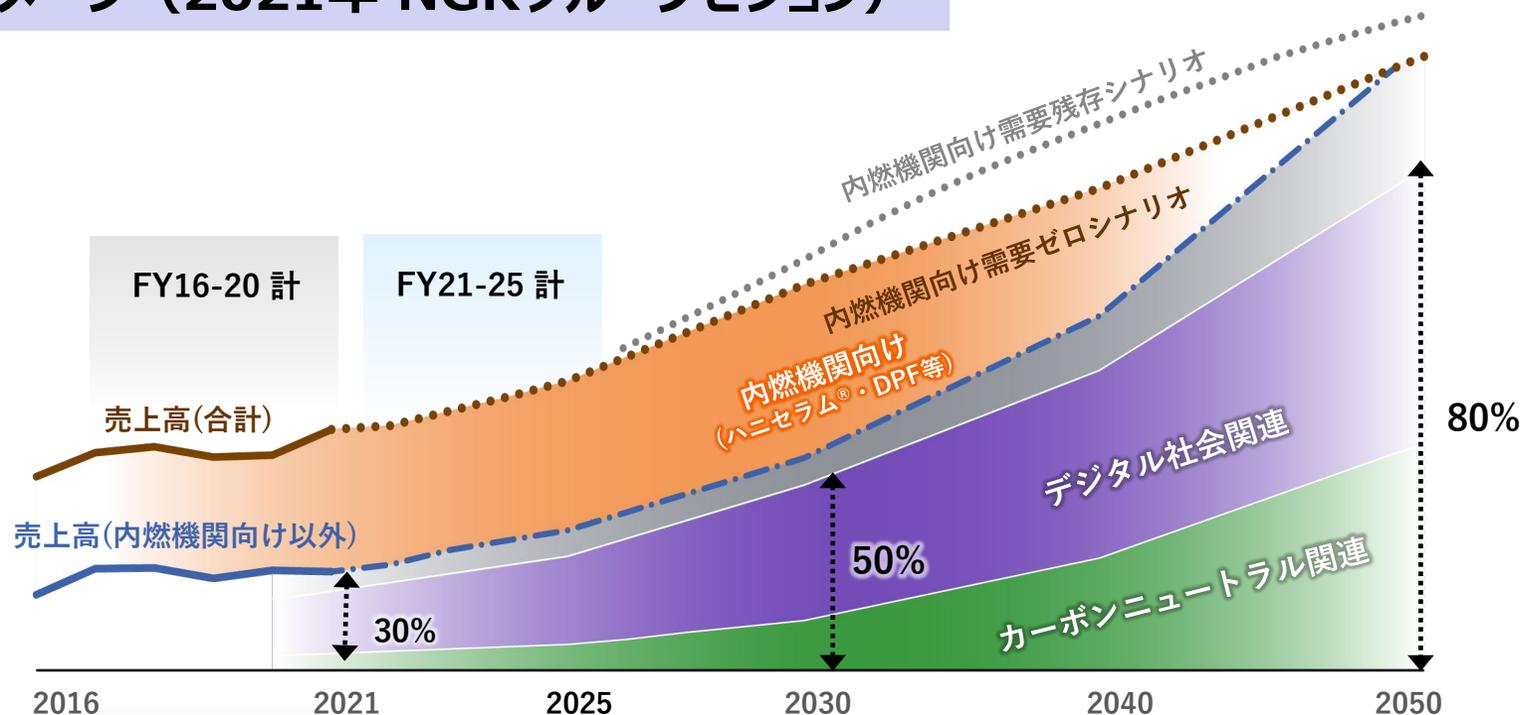
- 海外売上高 4,800億円 / 約77%  
(2024年度見通し)

為替レート

円/USD	113	135	144	147	140
円/EUR	131	141	157	161	155

# 中長期の展望

## 当社の成長イメージ（2021年 NGKグループビジョン）



設備投資  
研究開発  
営業利益  
フリーキャッシュ  
フロー  
有利子負債

3,766 億円	2,500 億円
1,084 〃	1,300 〃
3,037 〃	4,000 〃
+27 〃	+2,500 〃
増1,003 〃	± 0 〃

↑  
成長への  
インプット

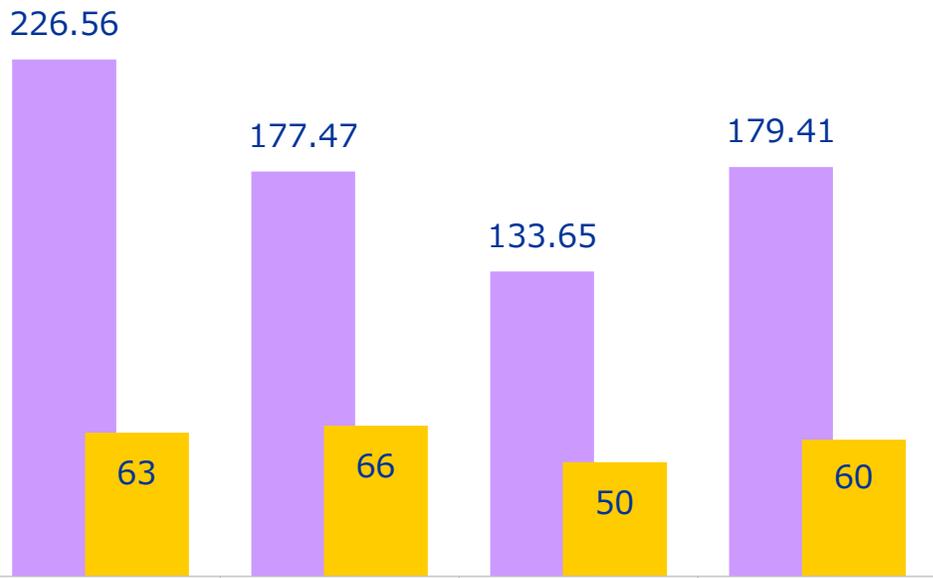
→ 留保  
→ 還元

～2030年の展望

内燃機関向け製品で収益を確保。  
追加投資を最小限に止め、収益最大化を目指す。

デジタル社会関連は、SAWフィルター用複合ウエハーをはじめ、既に製品化しているエレクトロニクス製品の拡大と共に、通信システムの更なる高度化などデジタル社会の進展に向けて新製品を投入し、早期の収益貢献を目指す。

カーボンニュートラル関連は、サブナノセラミック膜を含む当社技術を活かした製品の開発を進め、2030年以降の収益貢献を目指す。



純資産配当率	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
単年度	3.6%	3.4%	2.3%	2.5%
3年平均	3.0%	3.0%	3.0%	2.7%

## 2024年度

■ 配当金 **年間60円**  
 (中間30円、期末30円 予定)

事業リスクの変化に合わせた純資産管理と  
 3年程度の期間業績(R O E) へのリンクを勘案し

- ・純資産配当率3% 及び 連結配当性向30%程度を中期的な目途に
- ・キャッシュフローの見通し等

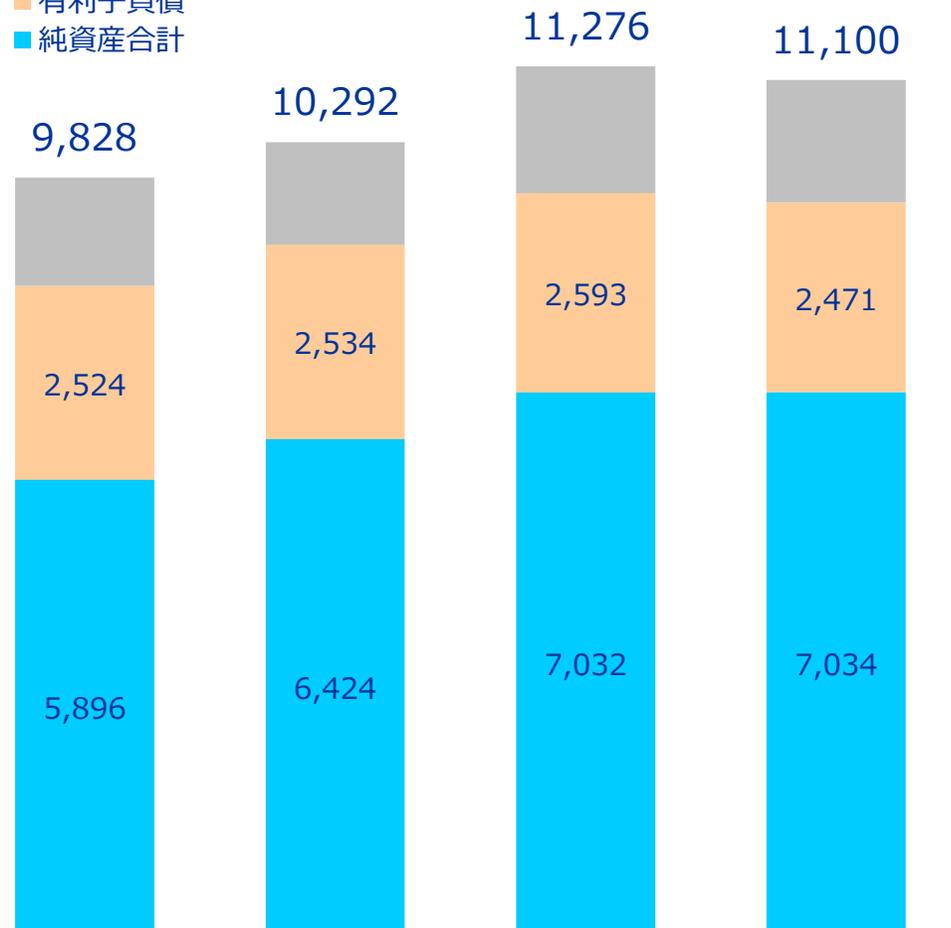
これらを総合的に勘案して配当することとしています

■ 配当利回り **3.05%**  
 (11月29日終値 1,970円に基づく)

# 総資産、信用格付、ROE

(億円)

■ その他負債  
■ 有利子負債  
■ 純資産合計



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度予
ROE	12.9%	9.0%	6.1%	7.6%
D/E	0.43	0.40	0.37	0.36
レシオ				

50%以上の自己資本比率を維持。

## 財務安定性

■ 自己資本比率 **61.7%** (2024年3月期)

## ■ 信用格付

R&I (格付投資情報センター)

・発行体格付 **A+** (ポジティブ)

・短期格付 **a-1**

## 収益性

■ ROE (株主資本利益率)

中長期の視点で **ROE 10%以上**の水準を意識

# 株価推移・単元株式変更

日本ガイシ（証券コード5333）株価推移

(円)



11月29日 (金) 終値  
1,970.0円

■ 単元株式数 100株

■ 最低投資額 19万7,000円  
(11月29日終値に基づく)

# ご清聴ありがとうございました



日本ガイシ株式会社

〒467-8530 名古屋市瑞穂区須田町2-56

E-mail [ir-office@ngk.co.jp](mailto:ir-office@ngk.co.jp)

Website <https://www.ngk.co.jp>



© NGK・kero/dwarf

本資料は当社の経営方針、計画、財務状況等の情報をご理解いただくことを目的としており、当社の株式の購入、売却など、投資を勧誘するものではありません。

本資料に記載されている業績目標及び数値等はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、需要動向などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績数値は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知置きください。